科目ナンバリング	U-LAS30 20035 SJ10						
授業科目名 <英訳>	プログラミング演習（Python） Programming Practice (Python)			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授　　喜多　一 国際高等教育院 特定講師 岡本　雅子		
群	情報学科目群	分野(分類)	(各論)			使用言語	日本語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	木2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本授業では、プログラミングの初学者を対象に、Python を用いたプログラミングを演習方式で学ぶ。Python のプログラム作成を通じて、プログラミングの基礎を学ぶとともにプログラミングの基本的な概念を習得する。

[到達目標]

- プログラミングの基本的な知識を理解する
- Pythonでプログラム開発を行うための実践的なスキルを習得する
- Python を用いて簡単なプログラムを自ら設計、実装、テストできるようになる

[授業計画と内容]

- プログラミングについての概説、Python の開発環境と操作方法（1回）
- 変数と代入、逐次実行（1回）
- リストの利用（1回）
- 制御構造（条件分岐）（1回）
- 制御構造（繰り返し）（1回）
- 関数、例外処理（1回）
- ファイル操作（1回）
- プログラムの開発手法（4回）
- 振り返り（1回）
- 各自のプログラミング課題への取り組み（2回）
- フィードバック（試験、プログラミング課題の講評）（1回）

[履修要件]

Python が実行可能なノートPCを持参して授業に参加すること。ノート PC への Python のインストールについては授業中に指示するので事前に準備する必要はない。

[成績評価の方法・観点]

トピックごとに提出を求める課題・最終課題で評価する。課された課題・最終課題について、授業回数に応じて配点し合計したものを成績とする。

[教科書]

使用しない
授業支援システム PandA で資料を配布する。

プログラミング演習（Python）(2)へ続く↓↓↓

プログラミング演習（Python）(2)

[参考書等]

（参考書）
喜多 一, 森村 吉貴, 岡本 雅子 『プログラミング演習 Python 2024』（2024）（出版されていません。オンライン版を授業で配布します。）
現在利用されているPythonは、バージョン2系統と3系統がある。本授業では、バージョン3系統を学習しますので、参考書の選定では注意してください。

[授業外学修（予習・復習）等]

授業時間外の学習として、トピックごとに提出を求めている課題・最終課題について取り組むことを求める。

[その他（オフィスアワー等）]

教室定員を超えた場合、無作為抽選を行う場合がある。
特定のオフィスアワーは設けないが、電子メールでの問い合わせなどは随時受けつける。